

# 清瀬市内中学校 特別支援教室（サポートルーム） 保護者説明会資料

令和5年11月15日（水）

「サポートルーム」教員

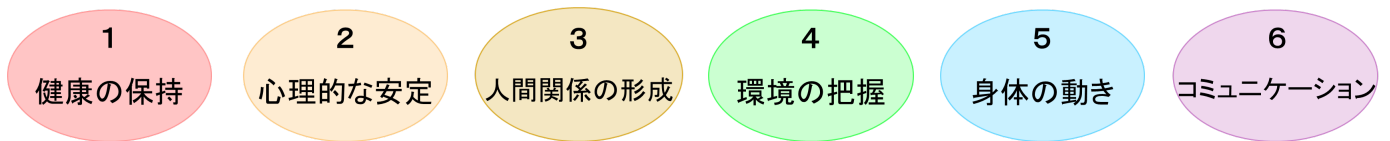
田口 丈貴 清水 聡子  
伊藤 弦哉 金山 千里  
佐々木 浩人 吉田 菜那子

## 「サポートルーム」の紹介

### サポートルームとは…

通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする生徒を対象に、「自立活動」の指導を行う場所です。その生徒の状態に応じた特別な指導を行い、学習上または生活上の課題を克服することで、学校生活が円滑に送れるようになることを目標としています。

※「自立活動」・・・サポートルームで行う6区分27項目の指導領域

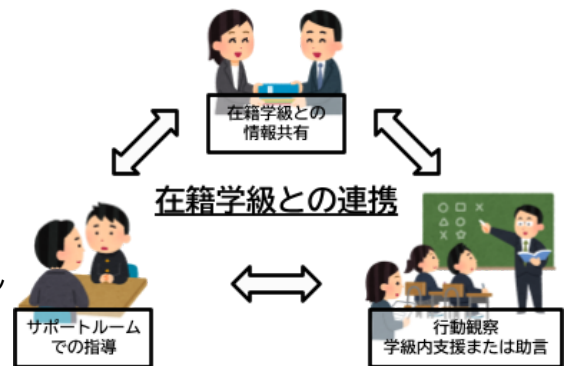


- (例) 1. 健康の保持      ①生活のリズムや生活習慣の形成      ②病気の状態の理解と生活の管理  
3. 人間関係の形成      ①他者とのかかわりの基礎      ②他者の意図や感情の理解      ……など

### 自立活動だけではなく…

サポートルームでは、週1～2時間の自立活動だけではなく、行動観察による学級内でのつまずきの把握や、在籍学級の授業の学級内支援または助言を行っています。

サポートルームでの指導、行動観察・学級内支援または助言をし、それらの情報を在籍学級の担任や教科担任と共有していくことで連携を図っています。



小学校（きらり）の拠点型と違い、中学校（サポートルーム）では「巡回型」です。

令和五年度 巡回日	月	火	水	木	金
清瀬中学校				巡回日	
清瀬第二中学校	巡回日				
清瀬第三中学校			巡回日		
清瀬第四中学校	巡回日				
清瀬第五中学校			巡回日		

※指導する教員は各学校の巡回日のみ、勤務しています。

⇒巡回日以外の日も、各校の『特別支援教室専門員』を通じて、連携をとっています。

抜ける教科は、担任や各教科の先生・生徒本人と相談し、**時数が多い授業**から選択します。  
本人の状況や授業内容によっては、実技教科の時間に設定する場合があります。



サポートルームに来ている時間は、本来の授業は受けられませんが、出席簿上は**出席扱い**になります。

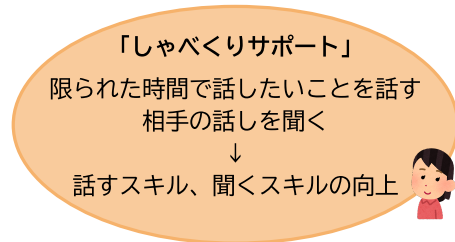
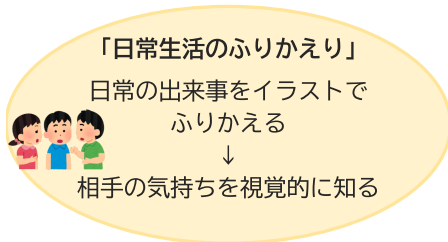
ただし、**抜けた授業の補充を行うことはできない**ため、その時間のノートやプリントは**生徒が自分で受け取りに行く**必要があります。

☆サポートルームの教員が、学級担任や教科担任と連携をとって、自分で抜けた授業の内容を聞きに行ったり、資料等を受け取りに行ったりできるよう、声かけ等を行っていきます！

## 実際の指導

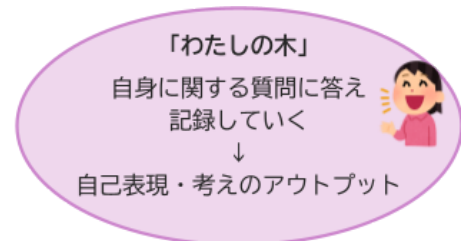
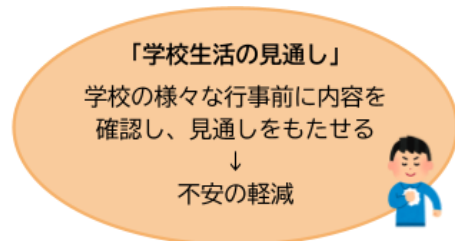
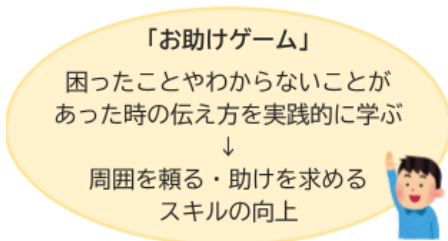
### 生徒Aさん

- ・相手の話を聞かず、自身の話を一方的に話す。
- ・その場に適さない発言を衝動的にしてしまう。
- ・一度学んだコミュニケーションスキルを日常生活で活用しようとする。
- ・落ち着いて考えると相手の気持ちを丁寧に考えることができる。



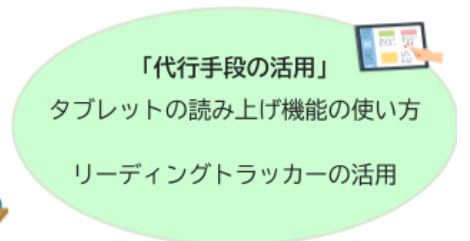
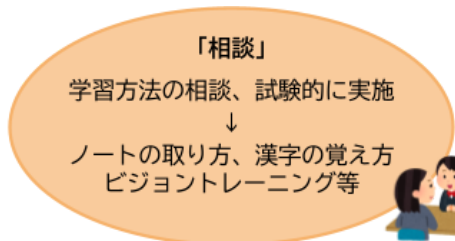
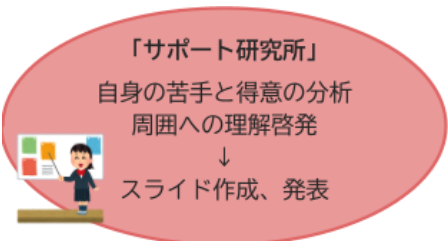
### 生徒Bさん

- ・見通しがもてないことに不安を感じる。
- ・自己表現することが苦手だが、心に秘めてる思いはある。
- ・困ったことが起こったときに周囲を頼ることができない。
- ・信頼できる友だちがいる。



### 生徒Cさん

- ・覚えることや、学習したことを記憶し続けることが苦手。
- ・漢字の形や読みを覚えることに苦戦している。
- ・「勉強を頑張りたい」という気持ちが強くある。
- ・授業中や定期テストでの配慮を希望している。



## 教材や授業内容の紹介

### 「勇者のカード」

自身の状態を客観的に振り返り、行動の修正点を考えさせる教材。

自分の状態を視覚的に認識できるよう工夫しています。「自分のHPを回復するには何が必要か」をゲームのように行動の修正点を考えさせるようにしています。

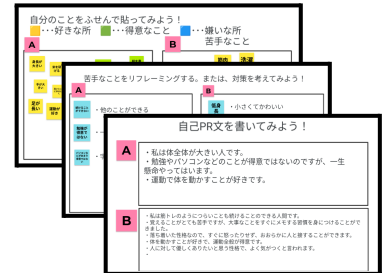
「やらなければいけないこと」=モンスター、「自分」=勇者、として課題に立ち向かい続けるよう保護者と連携して声掛けをしていきます。



### 「自己PR文づくり」

自己PR文の作成を通して、文章づくりの基礎を身につけたり、自己理解を深めたりする教材。

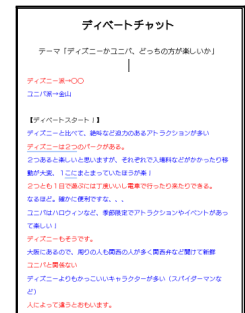
Jamboardという共同作業が行えるデジタルホワイトボードを使うことで、他の人の取り組みをリアルタイムで見参考にしたり、書字や文章作成に抵抗感のある生徒でも取り組みやすいように工夫しています。



### 「ディベートチャット」

タブレット端末を使用して、チャット形式でディベートを行う教材

言葉で表現できるようにするための前段階として行い、言葉で考えを表現することが苦手な生徒でも、タブレット端末を使用することで表現しやすくなります。



### 「こころ日記」

日付・天気・今の気分を表す色・直近の出来事や考えたこと等を書き、その内容について教員に説明していく教材。

日付や天気を参考にしながら、自分の気持ちが変化するきっかけを把握することができ、どんなときに気持ちが上げ下げするのか振り返る材料となります。



### 「サポートルームの伝説 ～予言の勇者たち～」

提示されたトラブルにつながりそうな場面の「最悪の未来」と「そうならないために現実的にできそうな解決策」を考えさせる教材。

「この後どうなるか」ではなく「最悪の未来」を予想させることで、2場面3場面先の見通しまで立てられるように工夫しています。小集団でも行うことで、他者の考えを聞いて参考にし、他者理解に繋げることができます。



### 「ポッチャ」

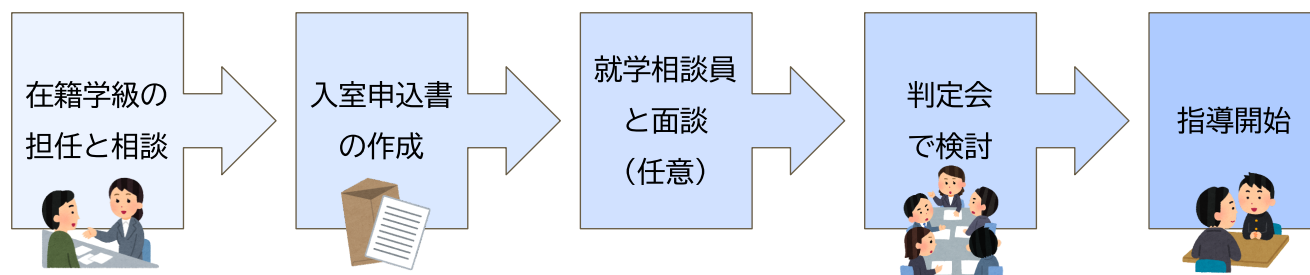
小集団で行い、コミュニケーション方法を学んだり、自分ができるとして集団参加する方法を見つけたりする活動。

スポーツを通して、自然な会話からコミュニケーションを学べたり、それぞれに役割を与え、それを果たすことで達成感を味わえるように工夫しています。



## 入室にあたって

### 入室の流れ



### 保護者の皆様にご準備していただく書類

※①②の書類は学級担任からお渡します。

- ① 入室申込書
- ② 学校生活支援シート（一部）
- ③ 発達検査（WISC-IV等）の結果（3年以内のもの）

#### 発達検査（WISC-IV等）が取れる場所

- ・子どもの発達支援・交流センター とことこ
- ・多摩北部医療センター
- ・教育相談室

## Q & A 紹介

Q：現在の通室人数は何人ですか？

A：

	一年生	二年生	三年生	合計
清瀬中学校	2	4	3	9
清瀬第二中学校	7	5	6	18
清瀬第三中学校	8	4	3	15
清瀬第四中学校	3	3	5	11
清瀬第五中学校	4	3	4	11

Q：学校ごとに巡回日が異なるのはなぜですか？

A：年度初めの各校の通室人数に応じて巡回日を設定しています。

Q：特別支援教室専門員は何をする人ですか？

A：巡回していない日の生徒観察、時間割や連絡、教材作成などの事務仕事を主にしています。

Q：担当の先生と合わなかった場合はどうしますか？

A：基本的に複数体制で指導していますので、他の教員がフォローに入れるようにしています。  
また、合わない人とどう付き合うかもコミュニケーションの指導で大切にしています。

## 各校連絡先

ご不明点やご質問等がありましたら、進学予定の中学校のサポートルームまでご連絡お願い致します。

清瀬中学校 … 042-493-6311

清瀬第四中学校 … 042-493-6314

清瀬第二中学校 … 042-493-6312

清瀬第五中学校 … 042-492-6315

清瀬第三中学校 … 042-493-6313